

## 平成 29 年度第 1 回二宮町お互いさま推進協議会 議事録

- 1 開催日時 平成 29 年 4 月 27 日（木）午後 6 時 30 分～午後 8 時 10 分
- 2 開催場所 二宮町役場 第 1 会議室
- 3 出席者 お互いさま推進協議会委員：15 名  
事務局：健康福祉部長、地域包括ケアシステム担当課長、地域包括ケアシステム班員 1 名  
社会福祉協議会事務員 2 名  
傍聴希望者：1 名
- 4 協議事項
  - (1) ワークショップの意見に対する提案結果について
  - (2) 今年度の優先取り組み事案及び次回のテーマについて
  - (3) その他

### 5 議事録

#### 1. 開会挨拶

事務局 定刻となりましたので平成 29 年度第 1 回目二宮町お互いさま推進協議会を始めさせていただきます。委員の方が 1 名遅れていますが先に進めさせていただきます。委員の皆様におかれましては大変ご多忙の中、また、足元の悪い中、夜にご参加いただきましてありがとうございます。今回の会議は平成 29 年 2 月 16 日に引き続いての開催となります。次第に沿って小椋健康福祉部長よりご挨拶を申し上げます。

#### 2. 挨拶

##### 健康福祉部長

お疲れ様です。今、課長からありましたように、お互いさま推進協議会が始まるわけですが、この 4 月より一般介護予防事業「地域の通いの場」が始まり、そこを拠点に住民同士の助け合い活動が始まることを期待しているのですが、残念ながらまだ私は通いの場を見に行くことができていない状況で、もう少し落ち着きましたら伺いたいと思っています。皆様にお配りさせていただいた資料に名簿がございますが、この名簿を持ちまして皆様方に今年度いっぱい活動いただくということをご理解いただきたいと思います。もちろん、来年度もお願いしたいと思っております。ひとつ紹介しておきたいのが、今日、生活支援コーディネーターがいらしていますが、正式には 5

月1日より地域包括支援センターに配属され、そこで生活支援コーディネーター業務も兼ねて、町の地域包括ケアシステム班とともに、このお互いさま推進協議会で町の将来像を描き、地域やさまざまな団体と一緒に活動いただくわけですが、今日は無理を言って参加いただいております。このお互いさま推進協議会では、前回のように自由に意見をお出しいただき、二宮町が将来どんな形で、誰もが元気に暮らしていくために、何をしていったらいいのか、何が必要なのか、そういったことを探りながら作っていく会議になります。年4回の会議を予定しておりますが、委員の皆様は目指す将来につながる活動に携わっていらっしゃる方々です。そうした活動を通じた情報を持ち寄り、回を重ねる中で次につなげ年度末には何か形が見えてくるような会になると良いと考えています。よろしくお願いいたします。

### 3. 委員の紹介

事務局 ありがとうございます。それではつづきまして委員の紹介になります。委員の皆様の自己紹介をお願いしたいと思います。

委員一同

(自己紹介)

事務局 ありがとうございます。それでは、事務局職員の紹介をさせていただきます。(自己紹介)

### 4. 会長及び副会長の選出

事務局 ありがとうございます。続きまして会長及び副会長の選出です。お手元の要綱をごらんいただきますと、会長は委員の互選により定めとなっておりますがいかがでしょうか。

委員 委員同士の面識も浅く、立候補も推薦もないかと思いますが、事務局案はありませんか。皆さんいかがでしょうか。

委員一同

異議なし

事務局 それでは事務局案といたしましては名倉さんをお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

委員一同

異議なし。

事務局 続きまして副会長ですが、副会長は会長の指名により定めとなっております。名倉会長から副会長のご指名をお願いできればと思います。

会長 それでは副会長は依田さんをお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

副会長 よろしくお願ひいたします。

事務局 それではあらためて会長、副会長にご挨拶いただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

会長 皆さんこんばんは。凶らずもこの席に座っております。けじめでございますので少し私のことを紹介させていただきます。私は団塊の世代の真ん中ということで、あと7～8年すると2025年問題の真っ只中になるという年代です。2025年問題にはお邪魔しないように現状の健康を維持したいと思っております。私がなぜこの場にいるかと申しますと、地区長連絡会の研究会で担当したテーマが地域包括ケアの構築ということで1年間かじってまいりました。月に1回メンバーで議論し町へ提言する、それを終えて3月いっぱい地区長を辞めました。これで行政の仕事はお役御免だと思っていたところにお手伝いいただけないかと声が掛かった次第です。役を受けたからにはある程度腹をくくって1年後の成果に結び付けたいと思っておりますので、積極的に皆さんのお知恵をお借りしたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは副会長、お願ひいたします。

副会長 依田と申します。たすけあいワーカーズ大空ではNPOとして、25年間市民活動という形で福祉活動を続けております。この会では会長の手助けといたしますか、それを含めて役に立てればと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは、議題に入る前に傍聴の確認をお願ひいたします。二宮町会議及び会議記録の公開に関する取り扱い要領により、本日の会議の公開につきまして委員の皆様にお諮りいたします。本日の会議を公開することで公正かつ円滑な審議が著しく阻害される恐れはないと思われまふ。よって本日の会議は公開したいと思ひますが、委員の皆様いかがでしょうか。

委員一同

異議なし。

事務局 ありがとうございます。それから、今日の会の様子を写真を取らせていただいてもよろしいでしょうか。

委員一同

異議なし。

事務局 では資料の確認をさせていただきます。(配布資料確認)

## 5. 議題

事務局 それでは議事の進行に入らせていただきますが、議事の進行は会長となっておりますので、よろしくお願ひいたします。

会長 それでは議題に入りたいと思ひます。議題の(1)と(2)がありますが、

内容としてつながっている部分がありますので、区別せず皆さんの意見をいただきたいと思います。資料のワークショップの意見はテーマ別に分かれておりますが、テーマにこだわらず、自由に皆さんのご意見をいただきたいと思います。

事務局 その前に、前回の振り返りも含め、地域包括ケアシステムの確認を事務局から少し説明をさせていただきたいと思います。

皆さん、資料の地域包括ケアシステムの姿というものをご覧ください。この図の中にお互いさま推進協議会と示されておりますが、この会は町域のものであり、介護保険法の地域支援事業にある生活支援体制整備事業です。この下に、図にはありませんが第2層が小学校区にございまして、4月から一色小学校区で始まっております。このお互いさま推進協議会ですが、前回もお話がありましたように会議というよりは打合せというか、先ほども会長からありましたように知恵を出し合うというか、意見を出し合う会にしていきたいということで、メンバーの関係もフラットな関係で、本日も机を五角形に配置し、リラックスした雰囲気知恵を出し合っただけであれば、そういったイメージで捉えていただければと思います。会長もお話されたように地域における生活支援を探したり創ったり、前回の皆様の意見を元に、否定的な意見ではなく意見を出し合っただけであればと思います。この二宮町の地域包括ケアシステムの姿

（案）は国の示した地域包括ケアの図を二宮町バージョンとしたものです。住民の生活を中心に、住み慣れた地域でいつまでも元気で暮らすために介護予防や生活支援、介護や医療が連携して支えていく体制を示しています。現在、地域の皆さんがお互い様の関係の中で支えあって楽しく暮らしていくことを目標に取り組んでいただいているところです。示されているものの中には実際に動いているもの、これから進めていくものとありますが、この図のイメージで二宮町の地域包括ケアシステムを充実させていきたいと考えております。

会長 二宮町の地域包括ケアシステムの絵の説明をしていただきましたが、これについて何かあればご意見をお願いします。

今、各地区で地域の通いの場が始まったところですが、この絵の中で真ん中の下にあります。健康づくり、交流、生きがい、皆さんの地区でも行われていると思いますがいかがでしょうか。

委員 毎週1回、役員を中心に自分たちでプログラムを考えたり、町から派遣されるスタッフの指導を受けたり、備品も社協の補助も活用してすごく楽しい雰囲気で行っています。

会長 施設の前を通るたびに幟も出て楽しそうです。他にこの絵について、また、この絵に限らずいかがでしょうか。

委員 ちょっと教えていただきたいのですが、通いの場って何箇所くらいあるのですか。

事務局 町内15箇所で始まっています。今年度中には17箇所になる見込みです。

会長 月に4回開催を目標に、数十名の方の参加もありますが、地域全体では1000人以上の高齢者がおり、出てこられる方の割合は少ない。出てこられない方はそれぞれご自身の取り組みをされている。出てこられる方はだいたい同じ顔ぶれになってしまうという課題もあります。

委員 ちょっとお聞きしたいのですが、今までミニデイサービスを行っていたのですが、今回の通いの場への移行で参加者の変化はいかがでしょうか

委員 昨日、地区社協部会連絡会がありました。ほとんどの地区でミニデイの利用者の方が継続して参加されている。一番少なかったところで半分くらいの方の参加と聞いています。そこはちょっと気がかりではありますが、他はほぼ継続して参加いただいているようです。

委員 この図で太枠の線と二重枠の線になっているものの違いは何ですか。

委員 この図の真ん中には住まいがあり、それを支える医療や介護、健康づくりがあります。それを連携やネットワークでつないでいるのが大きな円であり、その線上にある太枠のところは組織立ったり機関だったり実働するものを示しています。そして二重枠のところは連携やネットワークを機能させる事業や取り組みを表しています。地域ケア会議はケアマネジャーを中心に多職種で支援の検討をしていく場です。認知症の方を支える社会づくりでは予防の取り組みや早期発見、早期診断、安心して暮らしていくための周囲の理解などを進めていく事業です。そしてお互いさま推進協議会が地域の課題を検討したり、生活が豊かになる取り組みを広げていきたいと思いますという事業。医療・介護連携は医師と介護職員と一緒に研修をしたり、広く普及啓発をしたりという取り組みです。線の違いはそういった意味合いになっています。

委員 注意書きがあったほうがわかりやすいですね。

事務局 わかりました。

会長 実施要綱を見てみると、4条のところに委員はサービス等提供主体とありますが、これはどういった意味合いでしょうか。私は地区社協が浮かんだのですが、これは事業所に限定したものではないですよね。

委員 ここはサービスだったり支援だったり、提供している団体すべてを含んでいます。

事務局 多様な主体と捉えていただきたいと思います。

会長 このケアシステムの姿について、他にご意見はございますか

委員 いろいろな会議等が行われていることはわかったのですが、どの会議がどのような構成員で何を取り扱っているのかがわかりません。また、通いの場もどこで何回行われているのかも資料がありません。その一覧のようなものがあると良いと思います。

会長 通いの場の当事者はよくわかっても、若い方などはなかなかわかりにくいですかね。

事務局 会議後にお送りさせていただきたいと思います。

- 委員 次回以降、会議資料に添付していただけると良いと思います。また、他の会議もいつどこでどのようなことを行っているのか。この場で取り上げるべきことなのか、他に譲ったほうが良いものなのか、どういった会があるのかわからないので、そのあたりが明確になっているものがあって良いと思います。
- 会長 次回までに用意をお願いします。
- 事務局 わかりました。
- 会長 他にご意見はございますか。
- 委員 わかりやすいと思います。
- 会長 国の示したものではありません。
- 委員 地域の通いの場など、こうしてはっきり書いてもらおうと自分たちのやることがわかります。
- 会長 よろしいでしょうか。それでは議題に入ります。議題（１）（２）について、２つの議題と一緒に皆さんと議論したいと思います。ではワークショップの意見への提案について、ご意見をお願いします。
- 委員 これを読ませていただき、記載されている○数字の意味合いがわからない。ただ、意見にはキーワードがいくつかあるので、テーマに沿ってキーワードをまとめると良いかと思います。そうするともう少し見えてくるかと。
- 会長 いろいろと意見を出していただき、この中で何ができるか。優先順位や実行可能性など、いかがでしょう。
- 事務局 このシートは前回のワークショップで皆さんにお出しいただいた意見を４つのカテゴリーに分けてまとめさせていただきました。○数字は出された意見を数えたものです。いろいろな意見がありそれぞれがお互いに関与してくるものもあると思います。そのなかで不足するもの、あるいはあったらいいものなど、全体を見てご意見をいただき、最終的に優先順位が決まるといいと思います。
- 会長 自由なご意見をいただき、広めていけると良いと思います。
- 委員 ベンチの設置という意見がありますが、実際に街中には休むところも無くベンチがあるといいなと思います。
- 会長 あまりコストも掛からないでしょうからぜひ実現したい。
- 委員 休むところがあると若い子どもをつれた親御さんも助かる。それから、今、店舗の中に休憩できるスペースも設けてくださっている。寒い時期などに少し風除けも考えてもらえると、なおいいと思います。
- 委員 改善できると良いと思います。また、来客の声から町内の様子が外出について不親切だと聞いたことがある。バス停に座れるところや雨をしのげる待合が無かったりと。不便は声にしていかないと改善につながらないので伝えることは必要と考えます。
- 会長 ここには出されていないが、公園に子ども用遊具はあるが大人用遊具をおい

たらどうか。年配の方がストレッチをしたり。大和市では大人用の遊具を多数設置していると聞いた。費用も掛かるがぜひ検討してほしい。

委員 公園に大人が行くことで子どもの防犯にもなる。

委員 町内の公園の遊具は腐食して使えなくなっているものも多い。

委員 そういったものを子どもが使って怪我をしてはいけませんね。

委員 一色小区再生協議会ではそういったことも含め話し合われている。

会長 これは町の担当課は都市整備課ですか。使用禁止のテープが張られて半年以上そのままのものもある。

事務局 伝えておきます。

委員 意見で出されている子どもの登下校の見守りですが、若い方でも当番で見守りにたつことで仕事に支障が出てしまう方もいるようです。高齢の方が立つことで子どもと挨拶をする機会にもなりとても良いことだと思います。子育て世代の助けにもなり、高齢の方が外に出るきっかけにもなる。

会長 お店の中のイートインスペースもいいですね。

委員 やはりある程度のルールは必要になる。お店の看板もある。その折り合いをどう付けるかですね。

委員 児童の見守りはゆめクラブの方々がなさっていますね。下校は時間的に難しいようです。

委員 この課題をいただいたときに整理して考えたのですが、ひとつはどうやったら皆さんが外出しようと思うか。そう考えるとどこかをつながりを持っているということが一番大きい。そのつながりを促進することを用意する。ふたつ目はそれに対して何か見える形で返ってくる。そうするとつながる。そこを刺激できると良い。少し話は戻りますが、ベンチや遊具は安全上の課題はありますが、地域の人が集まりの中でベンチを作ろうとか、そういうことが両輪で進んでいけば活動が進むのではないかという気がします。

委員 地区の公園を自治会や育成会、中学生などで毎年花壇を作ったりベンチを作ったり、自分たちの手でにぎやかにしているところもある。

委員 提案の内容が非常に多くてどこから手を付けようか悩んでしまいますが、先ほどの児童の見守りもそうですが、健康づくりに散歩に歩いている方々は大勢いて、そのついでに防犯の見守りをしていくとか、あるものをくっつけて新しいものを作るという考え方も必要かと思う。

委員 通いの場の受付を育成会の方が率先してやったださっている。また、ゆめクラブの活動も地域の草刈など貢献活動をしてくださったり、会員以外の方も体操への参加者を受け入れてくださったり、協働することで活動が活発になっている。これがおもしろい。

委員 大勢集まるとそれだけの場所が必要になると思いますがどうされてますか。

委員 今は受け入れができています。

委員 通いの場は体操が必須だが、体操はスペースが必要。施設の確保も課題。

委員 育成会の協力は当番制で年に10回お願いしている。

委員 若い方がいらっしゃるのはいいですね。

委員 施設まで歩いていくのも課題ですね。せっかくいいことやるのにもったいない。

会長 若い方の意見はどうでしょう。

委員 話は変わってしまうのですが、移動について。移動手段としてバスを利用される方も多いのですが、ノンステップではないバスもあり乗りにくい。また、運転手さんの心配りも課題。車両の入れ替えはお金も掛かることですが、すぐできることとしては運転手さんや人の気遣いはすぐにはたらきかけることはできるかと思います。

委員 町民ではないが移動手段は課題と聞いている。バスでいやな思いをすると気持ちの上でも外出が遠のいてしまっただけとはいけないと思う。時間もお金も掛かるかもしれないが、交通機関の意見なども聞きながら形にしていけると良いと思います。

会長 今日は話を広げるだけ広げていただき、最後は副会長にまとめていただくということ。

副会長 何とかシステムという地域は地域で支えあうという昔からの仕組みが薄まってしまい、ある意味そこにもどるようなもの。通いの場も不安の中で始まったと思いますが、場所の問題もうれしい課題として、みんなでいろんな壁を乗り越える知恵と経験を持ち寄ることが必要だと思います。とにかくやれることやってみて、次につなげていければよいし、次に何を優先していくかを決めていければよいと思います。

委員 ひとつ、これからのテーマとして買物難民も取り上げてもらいたい。

委員 単純な疑問ですが、出かけることを考えるのか、届けることを考えるのか、どちらが良いのでしょうか。

委員 高齢の方は自分で出かけてみたいという方が多い。うれしいみたいです。

委員 たとえば、配達ではなく移動しやすいところまで出張販売すると助かるのでしょうか。

委員 そうですね。そうすると人にも合えるし話もできる。

委員 そこがたまり場になってもいいですね。

委員 通いの場に出張販売があってもいいですね。

委員 それができると楽しいですね。

会長 通いの場、たまり場は、決まりきった場所で決まったメニューをやるのではなく、自然発生的にできると良いものができる。制度で作るものだけでなく、そういったことも作っていけると良いと思います。

副会長 地域によって状況が違う。自分が住んでいる地域の中でも元々住んでいた人の多い地域では当然のように挨拶するが、新しくできた住宅地などでは地域の中の顔見知り具合というか、地域によって何かはじめても集まり具合が違

う。その違い自体は認めつつ、その前提で何をしていくかを考えていくことも必要。

会長 いつも決まりきった顔ぶれに対し何をしていくか。

副会長 誤解の無いようにお願いしたいが、ずっと住んでいると顔を合わせたくない人も出てきてしまうのかなと思う。いずれにしても新しいメンバーを入れていくのは大変なのかなと思う。

委員 私の地区はプログラムによって出てくる顔ぶれが替わる。

副会長 メニューを思いっきり変えてみるのも方法ですね。

委員 私の地区では比較的若い60歳前後の方は手芸など物を作るプログラムだと集まりやすい。一方で男性を呼び込むことに苦労している。

会長 麻雀なんかはどうでしょう。

委員 スペース的に難しい。

委員 私の地区は自作で麻雀卓を作ってまでして盛り上がっている。地域にそういう器用な人がいた。女性も数名参加している。

委員 お手伝いのほうも男性の協力は得られにくい。畑仕事などがあるらしい。男性に出てもらうにはゲームなどのイベントが良いみたいだが会場の課題がある。そこで地域にある社会福祉施設を借りられるようお願いしている。

会長 議題のその他も含めてご意見をいただいたところですが、とにかくこの地域包括ケアという名前自体が難しい。包括とはどういう意味か。私が考えるに弱者を地域全体で支えること。先日、同級生と会う機会があり、地域包括ケアって知っているか聞いたが知らなかった。当事者くらいしかわからない。そういう広く一般の方向けの周知も必要と考えている。ということではどうでしょうか。

事務局 ありがとうございました。いろいろな意見が出され、外出の促進であったり、買物、移動手段、通いの場、健康づくりなど、いただいたご意見は事務局で整理したいと思います。今年度は残り3回の会を予定しておりますので、どのように進めていくか事務局案を提出させていただこうと思います。まだ話したりない方もいらっしゃるかと思いますが、次の会につなげていきたいと思います。今年度は7月、10月、1月の開催を考えており、各会第4木曜でいかがでしょうか。次回は7月27日木曜日になります。近くなりましたらご案内させていただきます。

会長 それでは今日は遅くまでありがとうございました。